

新潟県知事 花角 英世 殿

〔設置者の名称〕 学校法人 北陸学園

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 加藤 聡介

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	北陸福祉保育専門学院
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u>)
大学等の所在地	新潟県長岡市福住 1 - 5 - 2 5
学長又は校長の氏名	加藤 聡介
設置者の名称	学校法人 北陸学園
設置者の主たる事務所の所在地	新潟県長岡市福住 3 - 3 - 2 8
設置者の代表者の氏名	理事長 加藤 聡介
申請書を公表する予定のホームページアドレス	http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698

大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)第 7 条第 1 項の確認を申請します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

- この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実と相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があると同時に、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第 7 条第 2 項第 3 号及び第 4 号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	小林 寛子	0258-32-0288	jimu@hokurikugakuen.ac.jp
第2号の1	小林 寛子	0258-32-0288	jimu@hokurikugakuen.ac.jp
第2号の2	小林 寛子	0258-32-0288	jimu@hokurikugakuen.ac.jp
第2号の3	小林 寛子	0258-32-0288	jimu@hokurikugakuen.ac.jp
第2号の4	小林 寛子	0258-32-0288	jimu@hokurikugakuen.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点(☑)を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	北陸福祉保育専門学院
設置者名	学校法人 北陸学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	464,718,000円	528,770,000円	-64,052,000円
申請2年度前の決算	574,912,000円	574,557,000円	355,000円
申請3年度前の決算	598,582,000円	589,615,000円	8,967,000円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	35,365,105円	1,214,316,456円	-1,178,951,351円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	460人	72人	15%
前年度	460人	80人	17%
前々年度	460人	105人	22%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北陸福祉保育専門学校
設置者名	学校法人 北陸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	夜・通信	1678 時間	160 時間	
	こども学科	夜・通信	1035 時間	160 時間	
	福祉保育学科	夜・通信	1605 時間	240 時間	
	大学提携こども未来学科	夜・通信	2265 時間	320 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に公表（情報公開→実務経験のある教員による授業科目） http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北陸福祉保育専門学院
設置者名	学校法人 北陸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に公表（情報公開→役員等）
http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元大蔵省勤務	H. 28. 9. 23 ～ R. 2. 9. 22	組織運営体制チェック 経営状況・計画チェック
非常勤	(株)SKG	H. 28. 9. 23 ～ R. 2. 9. 22	組織運営体制チェック 経営状況・計画チェック
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北陸福祉保育専門学院
設置者名	学校法人 北陸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を基に学内で作成方針を決定し、各学科において担当教員が授業概要・学習内容・評価方法等について加筆修正し、毎年度教科ごとに3月末までに作成する。 ・現在の公表方法としては、事前にお申し出のうえ、ご来校頂き閲覧する方法となっている。 2020年4月よりホームページ上に公表する。 	
授業計画書の公表方法	<p>事前連絡の上、来校・閲覧 (2020年4月以降ホームページ上に公表)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習評価 試験・レポート・実技の成績、平素の学習状況、出席状況を総合して判断する。 所定の授業時間数の3分の1以上の欠席、遅刻、早退のある場合はその科目の単位は原則として認定しないものとする。また、指示された作品等を提出しなかった場合も同様に単位を認定しないものとする。 ・試験結果の点数により、以下(優・良・可・不可)に分類される 80点以上 … 優 61点以上 80点未満 … 良 60点 … 可 59点以下 … 不可(単位未履修とする) ・授業計画(シラバス)に記載されたとおり成績評価を行い、学内の査定会により単位の授与又は履修の認定を行う。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な指標に基づく成績評価としては、授業科目ごとの成績評価を100点満点に換算し、取得した合計点の平均を算出する。 (100点満点で点数化する) 前期9月、後期2月の定期試験の後、成績評価を算出。それらの合計点をもとに、2月末日の査定会により分布状況について確認を行い、3月に生徒に通知する。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ上に公表（情報公開→成績評価・卒業認定） http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の出席が課程毎に定められた時間数の3分の2以上の出席している者 ・各実習の出席が指定時間数を満たしている者 ・各科目の科目試験(レポート試験・実技試験含む)に60点以上で合格している者 ・指示された作品等提出物をすべて提出している者 ・平素の学習態度が良好な者 ・各学科所定のカリキュラムの履修を通し、専門職として、社会人としての基礎力を修得し、現場が必要とする人材としての能力を身に付けたと認められる者 <p>上記すべてクリアしたものに対して、年度末の査定会により卒業認定を行う</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページ上に公表（情報公開→成績評価・卒業認定） http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北陸福祉保育専門学校
設置者名	学校法人 北陸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公表(情報公開→財務) http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698
収支計算書又は損益計算書	ホームページ上に公表(情報公開→財務) http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698
財産目録	ホームページ上に公表(情報公開→財務) http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698
事業報告書	ホームページ上に公表(情報公開→財務) http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698
監事による監査報告(書)	ホームページ上に公表(情報公開→財務) http://www.hokurikugakuen.ac.jp/?page_id=7698

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報（介護福祉学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2308時間	1,140時間	625時間	543時間	時間	時間
			2,308時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		13人	0人	4人	12人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を基に学内で作成方針を決定し、各学科において担当教員が授業概要・学習内容・評価方法等について加筆修正し、毎年度教科ごとに3月末までに作成する。 ・現在の公表方法としては、事前にお申し出のうえ、ご来校頂き閲覧する方法となっている。 2020年4月よりホームページ上に公表致する。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習評価 試験・レポート・実技の成績、平素の学習状況、出席状況を総合して判断する。 所定の授業時間数の3分の1以上の欠席、遅刻、早退のある場合はその科目の単位は原則として認定しないものとする。また、指示された作品等を提出しなかった場合も同様に単位を認定しないものとする。 ・試験結果の点数により、以下（優・良・可・不可）に分類される 80点以上 … 優 61点以上 80点未満 … 良 60点 … 可 59点以下 … 不可（単位未履修とする） ・授業計画（シラバス）に記載されたとおり成績評価を行い、学内の査定会により単位の授与又は履修の認定を行う。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の出席が課程毎に定められた時間数の3分の2以上の出席している者 ・各実習の出席が指定時間数を満たしている者 ・各科目の科目試験（レポート試験・実技試験含む）に60点以上で合格している者

<ul style="list-style-type: none"> ・指示された作品等提出物をすべて提出している者 ・平素の学習態度が良好な者 ・各学科所定のカリキュラムの履修を通し、専門職として、社会人としての基礎力を修得し、現場が必要とする人材としての能力を身に付けたと認められる者 <p>上記すべてクリアしたものに対して、年度末の査定会により卒業・進級認定を行う</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追・再試験制度を設け、単位取得の機会を与える。 また、放課後等に個別の指導時間を設け、各々事前申請により各担当者が対応している。 ・補講制度を設け、欠席分の補講措置対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	人 (%)	7 人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 介護福祉施設、介護保険施設等			
(就職指導内容) 就職先の斡旋、就職相談及び就職試験練習等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士、社会福祉主事任用資格、レクリエーションインストラクター、介護保険事務士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度を設け、細やかな声かけ等学生の不安解消に努めている		

①学科等の情報（こども学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会 福祉		教育・社会福祉 専門課程	こども学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,160 時間	660 時間	1,020 時間	450 時間	30 時間	
			2,160 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		46人	0人	6人	26人	32人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を基に学内で作成方針を決定し、各学科において担当教員が授業概要・学習内容・評価方法等について加筆修正し、毎年度教科ごとに3月末までに作成する。 ・現在の公表方法としては、事前にお申し出のうえ、ご来校頂き閲覧する方法となっている。 2020年4月よりホームページ上に公表する。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習評価 試験・レポート・実技の成績、平素の学習状況、出席状況を総合して判断する。所定の授業時間数の3分の1以上の欠席、遅刻、早退のある場合はその科目の単位は原則として認定しないものとする。また、指示された作品等を提出しなかった場合も同様に単位を認定しないものとする。 ・試験結果の点数により、以下（優・良・可・不可）に分類される 80点以上 … 優 61点以上 80点未満 … 良 60点 … 可 59点以下 … 不可（単位未履修とする） ・授業計画（シラバス）に記載されたとおり成績評価を行い、学内の査定会により単位の授与又は履修の認定を行う。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の出席が課程毎に定められた時間数の3分の2以上の出席している者 ・各実習の出席が指定時間数を満たしている者 ・各科目の科目試験（レポート試験・実技試験含む）に60点以上で合格している者 ・指示された作品等提出物をすべて提出している者

<ul style="list-style-type: none"> ・平素の学習態度が良好な者 ・各学科所定のカリキュラムの履修を通し、専門職として、社会人としての基礎力を修得し、現場が必要とする人材としての能力を身に付けたと認められる者 <p>上記すべてクリアしたものに対して、年度末の査定会により卒業・進級認定を行う</p>
<p>学修支援等 (概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追・再試験制度を設け、単位取得の機会を与える。 また、放課後等に個別の指導時間を設け、各々事前申請により各担当者が対応している。 ・補講制度を設け、欠席分の補講措置対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24 人 (100%)	人 (%)	24 人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 幼稚園、保育園、認定こども園等			
(就職指導内容) 就職先の斡旋、就職相談及び就職試験練習等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 短期大学士、保育士、幼稚園教諭、社会福祉主事任用資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	2 人	4.7 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度を設け、細やかな声かけ等学生の不安解消に努めている		

①学科等の情報（福祉保育学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会 福祉		教育・社会福祉 専門課程	福祉保育学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,150 時間	1,095 時間	1,575 時間	450 時間	時間	30 時間
			3,150 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		2人	0人	3人	26人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を基に学内で作成方針を決定し、各学科において担当教員が授業概要・学習内容・評価方法等について加筆修正し、毎年度教科ごとに3月末までに作成する。 ・現在の公表方法としては、事前にお申し出のうえ、ご来校頂き閲覧する方法となっている。 2020年4月よりホームページ上に公表する。 						
成績評価の基準・方法						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習評価 試験・レポート・実技の成績、平素の学習状況、出席状況を総合して判断する。所定の授業時間数の3分の1以上の欠席、遅刻、早退のある場合はその科目の単位は原則として認定しないものとする。また、指示された作品等を提出しなかった場合も同様に単位を認定しないものとする。 ・試験結果の点数により、以下（優・良・可・不可）に分類される 80点以上 … 優 61点以上 80点未満 … 良 60点 … 可 59点以下 … 不可（単位未履修とする） ・授業計画（シラバス）に記載されたとおり成績評価を行い、学内の査定会により単位の授与又は履修の認定を行う。 						
卒業・進級の認定基準						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の出席が課程毎に定められた時間数の3分の2以上の出席している者 ・各実習の出席が指定時間数を満たしている者 ・各科目の科目試験（レポート試験・実技試験含む）に60点以上で合格している者 ・指示された作品等提出物をすべて提出している者 						

<ul style="list-style-type: none"> ・平素の学習態度が良好な者 ・各学科所定のカリキュラムの履修を通し、専門職として、社会人としての基礎力を修得し、現場が必要とする人材としての能力を身に付けたと認められる者 <p>上記すべてクリアしたものに対して、年度末の査定会により卒業・進級認定を行う</p>
<p>学修支援等 (概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追・再試験制度を設け、単位取得の機会を与える。 また、放課後等に個別の指導時間を設け、各々事前申請により各担当者が対応している。 ・補講制度を設け、欠席分の補講措置対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9 人 (100%)	人 (%)	9 人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 幼稚園、保育園、認定こども園等			
(就職指導内容) 就職先の斡旋、就職相談及び就職試験練習等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 短期大学士、保育士、幼稚園教諭、社会福祉主事任用資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度を設け、細やかな声かけ等学生の不安解消に努めている		

①学科等の情報（大学提携こども未来学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会 福祉		教育・社会福祉 専門課程	大学提携こども未来 学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,750 時間	1,365 時間	1,905 時間	450 時間	時間	30 時間
			3,750時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		11人	0人	3人	26人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を基に学内で作成方針を決定し、各学科において担当教員が授業概要・学習内容・評価方法等について加筆修正し、毎年度教科ごとに3月末までに作成する。 ・現在の公表方法としては、事前にお申し出のうえ、ご来校頂き閲覧する方法となっている。 2020年4月よりホームページ上に公表する。 						
成績評価の基準・方法						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習評価 試験・レポート・実技の成績、平素の学習状況、出席状況を総合して判断する。所定の授業時間数の3分の1以上の欠席、遅刻、早退のある場合はその科目の単位は原則として認定しないものとする。また、指示された作品等を提出しなかった場合も同様に単位を認定しないものとする。 ・試験結果の点数により、以下（優・良・可・不可）に分類される 80点以上 … 優 61点以上 80点未満 … 良 60点 … 可 59点以下 … 不可（単位未履修とする） ・授業計画（シラバス）に記載されたとおり成績評価を行い、学内の査定会により単位の授与又は履修の認定を行う。 						
卒業・進級の認定基準						
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の出席が課程毎に定められた時間数の3分の2以上の出席している者 ・各実習の出席が指定時間数を満たしている者 ・各科目の科目試験（レポート試験・実技試験含む）に60点以上で合格している者 ・指示された作品等提出物をすべて提出している者 						

<ul style="list-style-type: none"> ・平素の学習態度が良好な者 ・各学科所定のカリキュラムの履修を通し、専門職として、社会人としての基礎力を修得し、現場が必要とする人材としての能力を身に付けたと認められる者 <p>上記すべてクリアしたものに対して、年度末の査定会により卒業・進級認定を行う</p>
<p>学修支援等 (概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追・再試験制度を設け、単位取得の機会を与える。 また、放課後等に個別の指導時間を設け、各々事前申請により各担当者が対応している。 ・補講制度を設け、欠席分の補講措置対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	人 (%)	4 人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 小学校（小学校教諭・養護教諭）、幼稚園、保育園等			
(就職指導内容) 就職先の斡旋、就職相談及び就職試験練習等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 大学士、小学校教諭、養護教諭、幼稚園教諭、保育士、社会福祉主事任用資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度を設け、細やかな声かけ等学生の不安解消に努めている		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉学科	150,000 円	650,000 円	330,000 円	実習費・新年度諸経費
こども学科	150,000 円	700,000 円	180,000 円	新年度諸経費
福祉保育学科	150,000 円	600,000 円	180,000 円	新年度諸経費
大学提携こども 未来学科	150,000 円	600,000 円	180,000 円	新年度諸経費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.hokurikugakuen.ac.jp (情報公開→学校評価)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 年一回開催 主な評価項目…教育課程等について自己評価を踏まえ、各分野から評価頂く。 評価委員の構成…定数 4名 選出区分 設定学科関係企業より 3名 卒業生 1名 学校関係者評価を踏まえ授業計画、教育課程編成等の見直しを行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
※2020年度からの評価を実施するために委員の選任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ※2020年度から評価を確実に実施・公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.hokurikugakuen.ac.jp
--

